



日本精工株式会社 株主・投資家との対話

2025年度の実施状況

2025年度の実施状況

主な対応者

CEO、CFO、社外取締役、経営企画本部長、技術開発本部長

対話を行った株主・投資家の概要

投資スタイル : アクティブ、パッシブ（国内・海外）

対応者 : ファンドマネジャー、ポートフォリオマネジャー、アナリスト、責任投資担当者、議決権行使担当者、個人投資家

実施内容

決算説明会（ラージミーティング）	4回 延べ338社
個別IR取材	延べ269社
機関投資家エンゲージメント	延べ21社
社長スモールミーティング	2回 延べ22名
海外IRロードショー（オンライン）	欧州・北米・アジア 12社
海外投資家向けカンファレンス参加	5回 延べ39社
社外取締役と機関投資家との対話	7社
技術説明会	7社
個人投資家説明会	1回 179名

対話の主なテーマ及び株主の関心事項

＜事業＞	✓ 足元の業績及び今後の見通し
	✓ 米国関税政策による影響とその対応
	✓ ポートフォリオ変革、構造改革等「中期経営計画2026」の取組み進捗
	✓ 「中期経営計画2028」策定に向けた大きな考え
	✓ 業界再編・M&Aの考え方
	✓ ステアリング事業の今後の方針
	✓ 長期ビジョン・将来展望
＜財務＞	✓ B/Sマネジメント、最適資本構成
	✓ キャッシュ・アロケーション
＜ガバナンス＞	✓ 取締役会の体制及びスキル・マトリックス
	✓ CEO続投の指名委員会での評価
	✓ CEOのサクセッションプラン
＜技術＞	✓ 技術展望（全体・自動車事業・産業機械事業）
＜その他＞	✓ 機関投資家の議決権行使基準の改定の方方向性

2025年度の実施状況

経営陣や取締役会に対するフィードバックの実施状況等

株主・投資家の皆様からいただいたご質問・ご意見は、取締役会や経営陣に報告を行い、今後の経営やIR活動の改善、開示の充実につなげています。

CEOによる 取締役会への報告	取締役会で、CEOより株式市場の反応、対話の結果や今後の対応について報告しています。
--------------------	--

日常のIR活動	決算発表後の市場の反応、個別IR取材や各IRイベントについては、IR室よりCEOをはじめ経営陣に週次または適宜、報告しています。
---------	--

当社の取り組み（対話を踏まえて取り入れた事項）

- ◆ 安定的な利益還元の継続として、配当性向30%～50%に加え、2025年3月期よりDOEを採用
- ◆ NSKビジョン2036の策定
- ◆ 中期経営計画2028の策定
- ◆ 機関投資家と社外取締役との対話の継続
- ◆ 統合報告書の開示充実